

第39回東海中学校総合体育大会柔道大会

1 期日

平成29年8月8日(火)	午前11時00分から	受付	
	午前11時20分から12時20分	団体戦・個人戦計量	
	午前12時30分から12時50分	団体戦役員審判監督打合せ	
	午後1時00分から	開会式	
	午後1時30分から	団体戦競技	
	午後4時30分から4時45分	団体戦表彰式(予定)	
	8月9日(水)	午前8時45分から9時15分	個人戦計量/受付
		午前9時30分から9時50分	個人戦役員審判監督打合せ
		午前10時00分から	個人戦競技
		午後3時10分から3時30分	個人戦表彰式/閉会式

2 会場

静岡県武道館

静岡県藤枝市前島2-10-1 TEL054-636-2332

3 参加人数

- (1) 男子団体戦への参加チームは各県4チームで、計16チームとする。チーム編成は、監督1名、選手7名とする。
- (2) 女子団体戦への参加チームは各県2チームで、計8チームとする。チーム編成は、監督1名、選手4名とする。
- (3) 男子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県4名の32名で、合計128名とする。
- (4) 女子個人戦への参加は体重別8階級、各階級各県2名の16名で、合計64名とする。

4 競技上の規定及び方法

(1) 試合方法

ア 団体戦

- ・ トーナメント方式とする。
- ・ 勝負は、勝数の同じ場合は、内容により決定する。(①「一本」・「反則勝」②「技有」③「僅差」) 内容も同じ場合は「引き分け」とし、任意の選手による代表戦を一回のみ行う。
- ・ チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
- ・ 選手の交代は、届出の補欠をもってあてる。この場合も、順次体重順の編成とする。いったん交代した選手は、再び出場できない。
- ・ 試合ごとに選手及び選手の位置の変更はできない。

イ 個人戦

- ・ 試合は、トーナメント方式で行う。
- ・ 階級は男女それぞれ次の8階級とする。
男子： 50kg級 55kg級 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 90kg超級
女子： 40kg級 44kg級 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 70kg超級
- ・ 第1日目と2日目に、会場で計量を行う。
- ・ 体重適合しない場合は失格とする。無理な減量はしないようにする。

(2) 試合時間

3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)の時間は無制限とする。

(3) 判定

- (1) 審判規定は、国際柔道連盟試合審判規定(2017)・国内における「少年大会特別規定」で行う。

ア 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、技あり10秒、一本20秒とする。

イ 個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、「一本」「技あり」の内容によって勝者を決定し、「技あり」、もしくは「一本」のテクニカルスコアでのみ決着する。直接もしくは累計による「反則負け」を除き、「指導」(1回目、2回目)の違いだけでは勝者は決定しない。「指導」は、相手のスコアにならない。

柔道 2

ウ ゴールデンスコアについては、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに突入する。ゴールデンスコアに入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、ゴールデンスコアは直ちに終了する。ゴールデンスコア中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。

エ 団体試合の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「技あり」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。

5 参加校・参加者の選出方法

各県中学校総合体育大会（県大会）を予選とする。

6 参加資格

第39回東海中学校総合体育大会実施要項9項による。

7 参加料

(1) 参加選手〔大会申込書に記入された選手〕一人につき1,500円とする。

※ 団体戦と個人戦の両方に出場する場合も、1,500円とする。

(2) 参加料は、各県の専門部員に申込書原本とともに提出する。

8 表彰

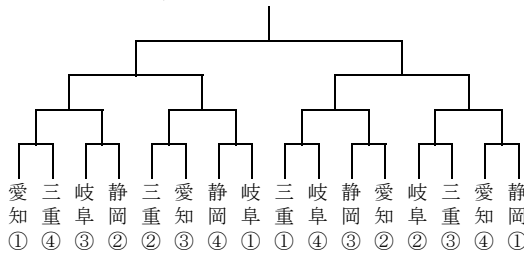
第39回東海中学校総合体育大会要項11項による。

9 申込方法

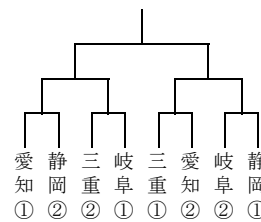
第39回東海中学校総合体育大会要項12項による。

10 組合せ

(1) 男子団体・男子個人



(2) 女子団体・女子個人



11 その他

(1) 服装 (公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。

(2) ゼッケンの着用

柔道衣背部にゼッケン(学校名・名字)を着用して試合をする。

布地は白(晒・白綾)とする。

大きさは、横30~35cm、縦25~30cmとする。

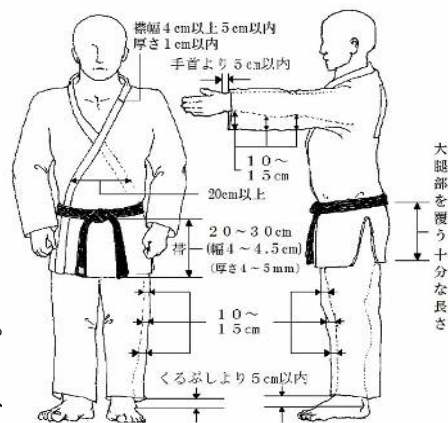
名字を上2/3、学校名を下1/3に記入する。

字体は太字ゴシック体とする。(明朝体、楷書体でもよい)男子は黒色、女子は赤色。

縫い付けの場所は、後ろ襟から5~10cm下部の所で、対角線にも強い糸で縫いつける。

女子は、白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又はレオタードを着用しなければならない。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。



(3) 会場利用等に関わる案内は、各県委員長を通じて行う。